

ナイス

第23号



秋晴れに響く“ソーリヤソーリヤ”

人・街・仕事づくり



N=NICE VIEW《ナイスの視線》で、A=ART《芸術》&AMUSE《楽しませる》や、
 V=VENTURE《冒険する》&VOICE《声》を、I=ISSUE《発行物》でお届けします。

リニューアル・オープン・キャンペーン
 11月6日・7日・8日の3日間
 アスファイン・コーヒーテラット
無料サービス

ディナーサービス
 ディナーご来店・お料理
 オーダーのお客様には...

アフタインハッピーサービス!
 赤ワインが毎日アサインをご
 指定ください。

パンサービス
 パンをお買い求めのお客様には...

コーヒーケトル無料サービス!
 午後のゆとりの一杯にご活用ください。

ディナーについては、コース予約承ります。(700円より)
 (ご予約は28日までにご連絡ください)
 また、キャンペーン期間以後にお申し込みのコース予約は、
 順時お受けしていますので、みならず、ぜひご利用ください!ご来店、TELしに承ります!

ランチメニュー (ランチ750円税込)
キャンペーン期間特別メニュー

Oランチ
 11/6 自家製パンチェットのアマトリチャーナ (コーヒーデザート付)
 11/7 ソーセージと茸のポロネーゼ (コーヒー付)
 11/8 小エビとほうれん草のクリームズパゲティ (コーヒー付)

Oビフ&パスタ
 11/6 時ローズのカツレツパスタ (コーヒーデザート付)
 11/7 軽く煮たサンマのムニエルパスタ (コーヒー付)
 11/8 ハンバーグステーキのブルゴーニュバター風味 (コーヒー付)

定番ランチメニュー

- 神戸ビーフのロコモコ風
- 小エビと茸のリゾット仕立て
- タコゴボふわふわオムライス
- 和風牛ロースステーキランチ

リニューアルに伴い、まことに勝手ながら、11月1日(土)~5日(水)はお休みとさせていただきます。

お誕生日・結婚記念日・合コン・オフ会・同窓会...
 少人数から30名様まで各種パーティー承ります。
ご予約・お問合せ
 パン&レストランビアン 06-6568-3443
 大阪西成区長橋3-7-28 プランコート1F
営業時間
 ランチタイム : 11:00~14:00
 ディナータイム : 17:00~21:00 (LO)
 パンショップ : 8:00~20:00

アルバイト 募集中
 ご希望の方は
 本店までご連絡
 ください

hidari maki
こころ逸曲

ビートルズ解散直後の70年12月、
 ジョン・レノンがソロアルバム「ジョンの魂」を発表した。僕はビートルズ
 の魂を埋めるべく、発売と同時に
 このアルバムを買って求めた。初めに
 感じた印象は「この重厚さは何だ?
 このヨーコ至上愛ってナンなんだ?と
 いう気持ちで聞いたことだった。
 A面1曲目のイントロを飾る陰鬱な
 釣鐘の音、続く両親への怨念や絶望を
 歌った「MOTHER」、"がんばら
 うジョン、がんばろうヨーコ"と激励

「あう2曲目の「HOLD ON」。
 3曲目「FOUND OUT」や
 B面冒頭の「REMEMBER」5曲
 目「GOD」に見られる過去の体験へ
 の反発や悪意、否定など喉も張り裂け
 よとばかりに叫ぶ。そして「MY M
 OTHER S DEAD」の「オレ
 の母ちゃん死んじゃった」という自己
 憐憫に至るエンディング。また、明ら
 かにジョンとヨーコの愛の世界を賛美
 する2、4曲目にわたる「LOVE」
 ・「WELL WELL WELL」
 ・「LOOK AT ME」など、か
 なり自己主張の強い仕上がりのであ
 る。

しかし、ビートルズにおけるポール
 との確執やその疲弊、断ち切れない父
 母との愛憎など、大人という社会、自
 分を凌駕する大きな存在なるものへの
 不信心や抵抗を、自ら初のソロアルバ
 ムに思いのだけ詰め込んだとしたら、
 あるいは、その解放感をヨーコという

パートナーとともに分かち合った作品
 だと考えれば、これはまさしくビート
 ルズから脱出した「ジョンの魂」がい
 っぱい、しかし正直に収められた作品
 といえるのではないだろうか。
 僕はこのアルバムA面4曲目に挿入
 された「労働階級の英雄」が好きだった。
 この曲はジョンがギターソロで語り聞
 かせるといふ曲だが、テイランを意識
 したスタイルだ。「大人は私たちが好
 きに飼育し、宗教とセックスとテレビ
 でがんにがらめにさせておいて、僕ら
 は自由だ、利口だから差別もされない
 と錯覚させる」。そして上流階級の仲
 間入りをしたかったら「まず殺しをや
 りながら笑えるようにならなさいいけ
 ない」と叫ぶ。大きな組織や権威が大嫌
 いな僕はこの曲に大いに同感した。
 80年の12月、ジョンはマーク・
 チャップマンという25歳の若者に射
 殺された。

hidari maki

ボクの
いにしえ湯かき
 「みんろう」でこのまちに溶けていく

わがナイスのプランコート竣工から
 3年、おかげ様で満室状態を維持して
 いる。同じ趣旨の増井マンションやオ
 ーキッドビル、シャンベル北村もつづ
 がなく経緯している。しかし、古い賃
 貸住宅を共同建替する際に従前入居者
 が仮住まいするリોકーション用市営
 住宅は、2年ほど空室のままとなつて
 いる。新しい建替事業が停滞している
 のだ。もちろん、幾つもの候補物件も
 あって、鋭意努力しているのだが、世
 の中そんなに甘くない。読者は先刻承
 知のことだが、これらの賃貸住宅、い
 わゆる「みんろう」と称される、民間
 老朽賃貸住宅の共同、あるいは協建
 替事業で、建設にあたって一定の国庫
 助成があり、従前入居者には概ね家賃
 差額の2/3の家賃補助がつくという、
 西成発の住宅事業だ。ボクは、これを、
 公でも民でもない住宅政策の「第三の
 道」と触れ回ってきた。そして、最初
 のプロジェクトであった増井マンシヨ
 ンの従前入居者の人々との語らいから、
 「もう、どこにも行かなくていい、ま
 ちづくり」というコピーをつけた。プ
 ランコートには、わがまちの若者に住
 み続けて欲しい、帰ってきて欲しいと
 いう思いを込めた。福祉や人権、まち
 づくり、そして社会企業という幾つも
 の「こんななんあったらいいなあ」を重
 ねた結晶だった。

ボクは、百年も昔、木津川沿いに広
 がる湿地帯であったわがまち、そして、
 「一帯に特殊部落民が多数点在する」
 と蔑視されたわがまちで、居を構え、
 暮らしを営んできた人々に思いを馳せ
 ながら、今にも消え入りそうなボク達
 のまちづくりの歩みを振り返っている。
 そして、このまちに「溶けていく」
 と、はやる気持ちを抑えている。

ただ、最近、泉佐野市の鶴原という
 地域で、ずっと社会運動を共にしてき
 たボクの友人が、有料高齢者マンシヨ
 ンを建て、先頃その階下にレストラン

を開店するという知らせが届いた。そ
 こも被差別部落だ。この後輩、なか
 か肝のすわった男で、その行動力には
 ボクもたじろぐ。久しぶりにライブル
 意識を燃やした。つられるように打ち
 明けるが、ボクは、ずっとあいらん地
 区のと真ん中にプランコートを建てた
 いと夢想してきた。ボクは、あのまち
 で「住まいを選ぶ」ささやかな自由を
 謳歌し合いたいと考えた。その夢を、
 まもなく実行に移すつもりだ。ボクの
 「溶けていく」は、まだまだ生臭いか
 な...

(株)ナイス代表取締役 富田一幸

この秋完成した、泉佐野市
 鶴原地域の有料高齢者マン
 ション「パトリア1」

